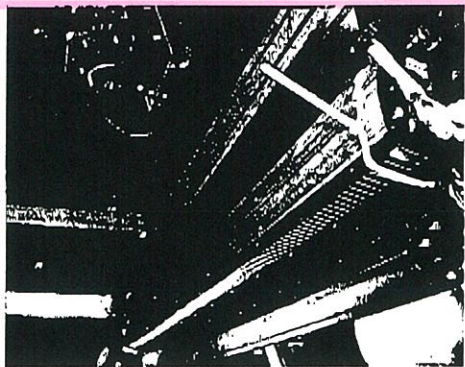


塗油膜や画像処理検査装置を製造するヒューテック・オリジン(高松市)は金属に付着している油と傷を判別し、傷のみを検出する検査システムを製品化した。独自開発した照明機器で、油に覆われて見えにくくなっている傷を検出する。品質管理の徹底が求められている自動車向けの鋼板の検査などで需要を見込んでいる。

鋼板に傷、油の下でも検出

ヒューテック・オリジン

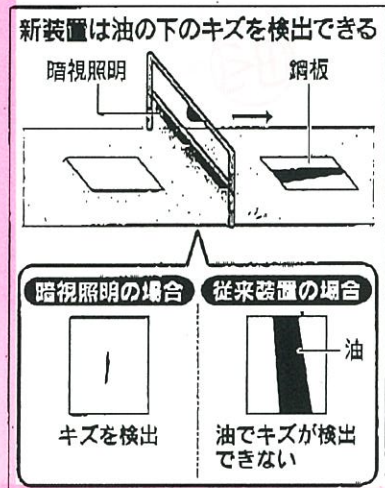


格子状のフィルターで照射角度を調整する

車向け検査需要に的

通常、自動車などにする。鋼板を加工する際、鋼板にはさびを防止す。表面に傷ができて油のために油が塗られてい。濡い部分に覆われて隠れ

「暗視照明」を活用



石井町「6次化」など指定

徳島県の創生特区 新たに2事業

徳島県は2日、県内市町村の地方創生への取り組みを支援する「徳島県地方創生特区」として、石井町の「次世代育成・六次産業集積特区」と、

合計4事業となった。石井町では、農業の6次産業化の推進や担い手の育成などを進める。移

住者向けの住宅や、倉庫や加工場など6次化に関する施設を、市街化調整区域内に整備できるように

する。茨波町では、農村舞台の復活公演による観光誘客や粟王寺門前町の活性化を進める。住宅の一部を開放して観光客を泊める「民泊」を推進するほか、イベント開催時に道路を利用できるように警察と調整する。

たり、油でできたスジと見分けがつかなくなった。作業員の目視や従来の検査システムでは判別できないケースもあったという。

光るよつに浮かび上がる。傷は画像処理機器が判断し、付属のモニターや警報器などと連動させて知らせる。

照明には発光ダイオード(LED)と、LEDに格子状のフィルターを取り付けた暗視野投光器の2タイプを使う。通常、鋼板に垂直に光を当てても油に遮断され、油の下にある傷がカメラに映らない。格子状のフィルターを通すことで、光の入射角度が変わり、傷を検

出でできるようになる。装置は加工場などのラインに設置し、装置の下を鋼板を通過させながら検査する。コンベヤーなどの上を鋼板が流れてくる場合、作業員が確認できるのは1分間に60枚程度の範囲という。

装置の価格は規格などにもよるが、1基あたり約1500万円を見込む。鉄鋼メーカーで製造された鋼板(コイル)を加工する加工業者(コイルセンター)にすでに1基を納入した。

熊本地震 影響を受けた中小 香川県が融資制度

香川県は熊本地震で形勢を受けた県内の中小企業を対象に、融資制度を創設した。売掛金の回収が困難になったり、生産活動が一時停止したりし

た際の資金繰りを支援する。百十四銀行や香川銀行といった地元金融機関のほか、三井住友銀行など都市銀行とも協働して実施する。

「地震対策緊急融資」は融資額5千万円以内、期間は10年以内、利率は年1.5%以内の固定とする。

信用保証料率は0.4~1.55%。県内に事業所を持ち、事業を6カ月以上続けている企業を対象とする。

地震で被害を受けた企業への価格の回収が困難、地震の影響で10月以上(見込み含む)の売上高が前年同期より10%以上減、臨時的な返済が必要、といった場合に融資を受けられる。借り換えには使えない。



木島で保育所入所式 高松市、14年ぶり再開

高松市は2日、瀬戸内海に浮かぶ木島で、市立保育所の開所・入所式を挙げていたが、瀬戸内国際芸術祭の会場となったことなどから、子育て世帯の移住やUターンが増え、地元から市に開設の要望が出ていた。14年ぶりの再開となった。

「男木保育所」は市立男木小中学校内に併設。1~5歳の4人が入所し、増え。島内では、保育所の再開式で、大西秀人市長は「若い人が移住し、

島の人口は180人。芸術祭以降、若い世帯の移住が増え、14年には小中学校を再開した。同日の開所式で、大西秀人市長は「若い人が移住し、